令和８年第３３回定例公安委員会会議録

開 催 日 時　令和８年１０月２９日（木）午前１１時１０分～午後２時１０分
開 催 場 所　警察本部

第１　定例会議

１　開催時間　　午後１時３０分～午後１時４７分

２　出席者

公安委員会　笠田委員長　　杉原委員　　米原委員

警察本部　　梅田警察本部長　　渡邉警務部長　　渡邊首席監察官
山枡生活安全部長　　細田刑事部長　　宮田交通部長
永島警備部長　　山田警察学校長　　永井情報通信部長
生田警務部参事官

（事務局等～柳原公安委員会補佐室長、総務課員）

３　議題事項

４　報告事項

〇鳥取県議会　令和８年９月定例会の結果（警務部）
〇各種大会報告（警務部）
〇１１月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

（１）鳥取県議会　令和８年９月定例会の結果（警務部）

渡邉警務部長

鳥取県議会令和８年９月定例会は、令和８年９月１４日に開会し、３０日間の会期を終え、１０月１３日に閉会した。９月定例会における警察関連の議案

は、令和８年度鳥取県一般会計補正予算について可決された。

警察に対する質問、答弁の状況は、代表質問では、鳥取県議会自由民主党の語堂正範議員から「災害時における防犯対策」について質問があり、警察本部長が答弁した。

一般質問では、無所属の西村弥子議員から「休暇を利用しやすい配慮及び運用上の工夫」について、鳥取県議会民主とっとりの伊藤保議員から、１つ目は「自転車の交通規制」について、２つ目は「生活道路における法定速度の規制対象となる生活道路」について及び「農道の規制」についての追及質問、３つ目は「ドローン配備と操縦士の養成」について質問があり、それぞれ警察本部長が答弁した。

地域県土警察常任委員会においては、「令和８年熊本地震に係る鳥取県警察の対応について」、「鳥取県警察犯罪被害者等支援基本計画の策定について」の合計２件の報告を行った。

委員

９月定例会では３人の議員から質問があり、警察本部長に適確に答弁していただいた。本年４月に自転車に対する交通反則通告制度が導入され、本年４月から８月までの間の自転車等の交通人身事故の件数が減少したこと、ヘルメットの着用率が向上したことが挙げられ、大変すばらしいと感じた。死亡事故の発生抑止、県民の安全安心を考えるうえで、取締り制度の必要性を改めて感じた。

委員

県議会は、県民の代表である議員の方が県政について論じられる場であり、警察業務について、県民の関心のありかが議員の方からの質問に現れていた。本部長には、日々の警察業務において適切な対応をしていただいており、答弁でも分かりやすく答えていただいた。県民の皆様の関心のある事柄、声を、日々の業務に生かしてもらいたい。

委員

議員の方からの質問は、警察を応援する認識であると思い、県民の期待の表れだと感じている。休暇申請が電子申請で行われている点について、鳥取の企業ではあまり聞いたことがなく感心した。

（２）各種大会報告（警務部）

渡邉警務部長

警察職員が出場した大会の結果と、近く出場を予定している大会について報告する。まず、大会結果についてであるが、１件目は、１０月６日、７日に日本武

道館で開催された令和８年度全国警察柔道大会・剣道大会に剣道特別訓練員８人、柔道特別訓練員７人が出場し、いずれも予選リーグで敗退となった。２件目は、１０月１７日から１９日にかけて、青森県の七戸町総合アリーナにおいて開催された第８０回国民スポーツ大会剣道競技に機動隊の職員１人が出場し、団体戦１回戦で敗退となった。出場した職員については、１勝を挙げた。

次に、出場予定の大会についてであるが、１件目は、１０月３０日に鳥取県警察学校で開催される令和８年度鳥取県警察逮捕術大会に、警察本部、警察学校及び各警察署代表選手が出場し、団体戦での試合を行う。２件目は、１１月１２日に中国四国管区警察学校射撃場で開催される令和８年度中国四国管区内警察拳銃射撃競技大会に拳銃特別訓練員５人が出場を予定している。

委員

職員が出場された大会結果について、僅差であったり、職員が１勝を挙げるなど、伸びしろを感じる結果である。今後も頑張っていただきたい。明日は鳥取県警察逮捕術大会が開催される。熱気のあふれる試合を期待している。

委員

日々の業務をこなしながら、稽古や訓練を重ねていくことは容易ではないと感じるが、結果のよしあしに関わらず、大会の参加によって得られたものは必ず現場で生かされると思うので、頑張ってきてもらいたい。

委員

他県に比べて人数が少ない部分もある中で、順位よりも日頃の成果を出せるかどうかということである。今後も引き続き努力していただけたらと思う。

（３）１１月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

山田警察学校長

まず、入校関係についてであるが、採用時教養は、初任科第１０４期が入校している。専科については、窃盗犯捜査実務専科、緊急自動車専科、緊急自動車運転技能者専科、知能犯捜査実務専科、定期教養が予定されている。任用科については、警部補任用科、巡査部長任用科、警備任用科が予定されている。

１１月中の行事・訓練関係等について、１１月２０日に当校で開催予定の鳥取県警察柔道・剣道大会に出場する。柔道競技については、競技歴が基準に満たないため、安全配慮の観点から警察学校の学生については不参加となる。１１月３０日から１２月４日にかけて、鳥取警察署、米子警察署の２署に分かれ、各署の交番勤務員指導のもと、制服実務研修を実施する。次に、１０月中の行事・訓練等の状況についてであるが、初任科生の拳銃射撃技能向上を目的とし、１０月８日に校内拳銃競射会を実施した。１０月３０日には、鳥取県警察逮捕術大会に

初任科生が出場する。

委員

初任科生は、入校してから半年となる。明日の鳥取県警察逮捕術大会で、成長を見させていただきたい。

委員

１１月に入ると寒さが増すが、学びながら、緊張した日々を過ごしておられると思う。気の張る場面が多いかと思うので、心身ともに支えていただきたい。専科、任用科については、現場を離れて学ぶ機会になると思う。現場に戻られてからの力になることを願っている。警察学校の学生に柔道の経験者がいないということで、安全配慮の観点から出場しないということは、正しい方向性だと思う。警察官として柔道は必須の科目だと思うので、今後も一生懸命訓練し、技術を習得していただきたい。

委員

警察学校の専科、任用科については、日頃多忙で、まとまって学習できない部分を補う貴重な機会だと思う。しっかり学んでいただき、業務に生かしていただきたい。

第２　その他の公安委員会活動

１　意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取４件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

２　聴聞

３　事前説明

４　報告事項

・下半期の業績目標説明
・運転免許更新時における旧運転免許証の取扱状況
・ＰＨＰに係る脆弱性への対応状況

・監察案件の報告

5　決裁

犯罪被害者等早期援助団体からの役員変更等の届出

6　公安委員会委員間の事前検討・協議等

7　公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。